

# 公立沖縄北部医療センター



2028年度 開院



**450** の病床数

高度急性期・急性期	400床
回復期(地域包括ケア病棟)	48床
感染症病床	2床

**34** の診療科

内科／総合診療科※／救急科／呼吸器内科／消化器内科  
循環器内科／腎臓内科／感染症内科／内分泌代謝科  
神経内科／腫瘍内科／リウマチ科  
外科／呼吸器外科／消化器外科／乳腺外科／整形外科  
心臓血管外科／形成外科／脳神経外科／歯科口腔外科  
耳鼻咽喉科／皮膚科／泌尿器科／眼科／精神科・心療内科  
小児科／産婦人科／麻酔科／放射線診断科／放射線治療科  
病理診断科／臨床検査科／リハビリテーション科

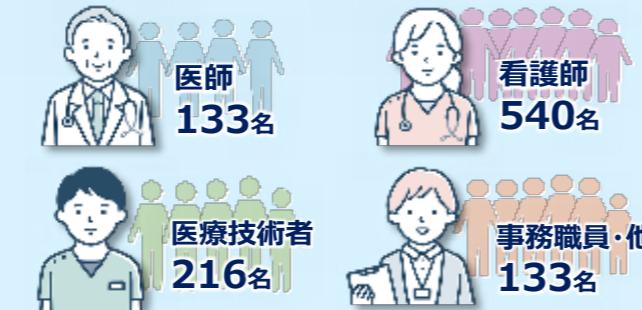
※ 院内標榜

**17**万人\* の延べ外来患者数

**7,000台\*** の救急搬送件数

**10,000人\*** の入院患者数

\* 2病院の診療実績から算出された年間の推計値



注) 基本計画策定時の想定職員数



**1階 エントランスホール**



**2つの動線で構成される外来・検査部門**

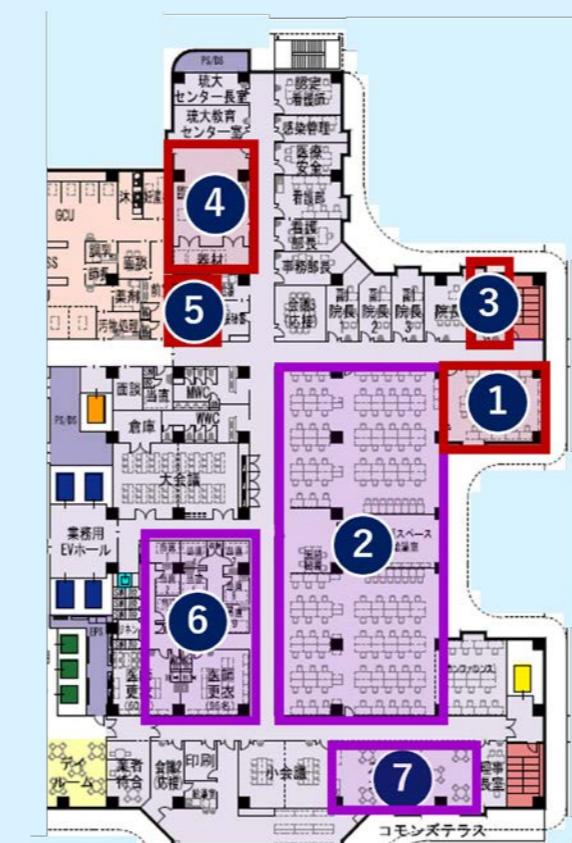
2階 ホスピタルストリート (イメージ)



**感染症の流行にも対応可能な入院病床**

一般病室 (イメージ)

### ■ 医局から独立した「研修医ルーム」



4階には、医局と隣接・独立して研修医ルームがあります

- ① 研修医ルーム
- ② 医局
- ③ 臨床研修センター
- ④ 臨床研修シミュレーション室
- ⑤ 図書室
- ⑥ 当直室・更衣室
- ⑦ スタッフコモンズ (多職種休憩室)



スタッフコモンズ (イメージ)

# 他の地域では『できないことができる』病院へ！

*General & Special そして Academic & Original なマインドをもつ病院*

## 公立沖縄北部医療センターとは？

**沖**

縄県北部地域の医療を支えている「県立北部病院」と「北部地区医師会病院」が統合して、2028年度に名護市内に開院する全く新しい臨床研修病院です。

“やんばる(山原)”と呼ばれる北部地域における唯一の総合病院として、両病院がこれまでに培ってきた経験や実績を継承・発展させ、「地域完結型の急性期・専門医療」を担います。また、公的病院として、地域にとって必要不可欠な医療(救命救急・災害医療・感染症・周産期・小児・がん・離島へき地診療・健診・透析など)を提供するとともに、県内の大学や専門学校と連携して、医師や看護師、そのほかの医療技術職の人材育成に積極的に取り組みます。そして、北部地域にある“8つの病院”と“54の診療所・クリニック”そして多くの介護・福祉施設をつなぐネットワークのハブとなり、これまで以上に地域医療連携の中心的な役割を担います。



## 重ならない医療圏

**人**

人口が集中する那覇・中南部地域の臨床研修病院は、病院間の距離が近く医療圏が重なっているため、同一患者が複数の病院を重複して受診することがありますが、他地域と離れていて、かつ医療圏が重ならない北部地域は、必然的に新病院に症例が集積されます。これにより、初診から診断・治療まで一貫して対応できるほか、地域特有の疾患を経験したり、ある疾患の特徴などについて他の地域と比較することができます。



## 健診センターの併設

**北**

部地区医師会病院がもつ健診センターは新病院に継承されるため、病気になる前の健康・医療情報にアクセスすることができます。それにより、以前の検査・画像データと比較して病状や経過を把握することができるほか、疫学調査や介入研究を行うことが可能となります。また、近隣には人間健康学部や看護学科を有する名桜大学もあり、AIと健診データを活用した医療・ヘルスケアの分野での連携も期待されます。



## 琉球大学病院との連携

**新**

病院には、琉球大学病院のサテライト(寄附講座)として、「琉球大学病院地域医療教育センター」が設置されます。初期から後期までの臨床研修を通して“地域医療”を学ぶとともに、琉球大学との連携により“地域完結型の専門医療”も併せて学ぶことができ、“General&Special”, “Academic&Original”な臨床研修を実践します。

- 症例の蓄積**  
地域に特有な疾患の経験や他地域との比較ができる
- 疫学調査・研究の推進**  
介入のアウトカムが分かりやすく、研究が行いやすい
- 医療情報の集約**  
北部地域の病前・病後の医療情報が集約される



## 生活を支える研修医宿舎と周辺環境

### ■ 研修医宿舎 概要（予定）

新築・4階建て / 全24室（各階6室）

間取り : 1LDK

トイレ・風呂別、ベランダあり

駐車場・駐輪場 : あり

※病院敷地内には、保育園も設置予定です。



外観 イメージ

室内 イメージ

### ■ 病院・宿舎の周辺環境



2025年6月現在、病院ならびに研修医宿舎予定地周辺には、コンビニエンスストアのほか、スーパー・ドラッグストアなど、大型ショッピングセンター、ドラッグストア、家電量販店、ファストフード店などが複数あります。ほとんどが自転車で5-10分以内の距離にあり、日常生活で困ることはございません（院内にもコンビニエンスストアが設置される予定です）。

スーパー・ドラッグストアなど ホームセンターなど

飲食店 コンビニエンスストア（●）



研修医宿舎 建設予定地

## 県内外から沖縄北部に集まる研修医

名護湾

### ■ 先輩研修医の出身大学（北部2病院）

- 旭川医科大学 ●北海道大学 ●札幌医科大学 ●弘前大学 ●岩手医科大学
- 獨協医科大学 ●埼玉医科大学 ●杏林大学 ●東京慈恵会医科大学 ●昭和医科大学
- 横浜市立大学 ●東海大学 ●新潟大学 ●山梨大学 ●愛知医科大学 ●福井大学
- 金沢大学 ●岐阜大学 ●近畿大学 ●関西医大 ●大阪大学 ●京都大学
- 岡山大学 ●広島大学 ●島根大学 ●山口大学 ●香川大学 ●徳島大学
- 高知大学 ●福岡大学 ●久留米大学 ●佐賀大学 ●大分大学
- 熊本大学 ●宮崎大学 ●鹿児島大学 ●琉球大学
- センメルワイス大学（ハンガリー）



北部地域（通称「やんばる」）は、中核都市である名護市と3つの離島を含む12市町村からなり（人口約13万人）、本島の面積の半分以上を占める広大な地域です。世界自然遺産に登録された「やんばるの森」をはじめとして豊かな自然が数多く残っております。海岸沿いには国内屈指のリゾートホテルが点在します。また、国営沖縄記念公園（海洋博公園）や大型テーマパーク（2025年7月開業）に代表される観光スポットのほか、プロ野球やサッカーなどのキャンプやツール・ド・沖縄といったスポーツ関連イベントを通して国内外から多くの観光客が訪れる地域です。



自然豊かな環境で動物たちと触れ合える



病院から最も近い名護市民憩いのビーチ



日本一開花の早い桜の名所



古宇利島と屋我地島を結ぶ本島最長（1,960m）の橋



日本100名城にも選ばれた絶景の世界遺産



県内最大級（全長800m）のロングビーチ



世界最大級の水槽でジンベエザメやマンタに会える



やんばるの大自然を満喫できるキャンプ場



青く輝く神秘の海中洞窟でダイビングが体験できる



荒波が打ち寄せる沖縄最北端のダイナミックな絶景

10

## ■ 公立沖縄北部医療センター開院までの研修スケジュール（予定）

令和 9年度 (2027)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	沖縄県立北部病院 もしくは 北部地区医師会病院にて研修											
令和 10年度 (2028) 開院予定	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	沖縄県立北部病院 もしくは 北部地区医師会病院にて研修											
令和 11年度 (2029)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	公立沖縄北部医療センターにて研修											

沖縄県立北部病院



北部地区医師会病院



沖縄県地域医療支援センターが発行している情報誌『Muru Uchina ムルウチナー』で  
北部地域の特集記事が掲載されました。下記リンクからご参照ください。



Muru Uchina  
2022 Vol.09



Muru Uchina  
2024 Vol.12

